

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方から学んだこと

【校内持久走大会及び木谷蛟龍太鼓演奏会 12月13日（水）】

昨年度はみぞれが舞い散る寒い日でした。今年は晴天のぽかぽか陽気で児童たちは日ごろの成果をしっかりと出し切ろうと張り切っていました。

開会式の後、低学年のスタートでした。校長先生の雷管の合図で一斉に飛び出しました。手を振って走る姿がかっこよかったです。続いて中学年のスタートでした。前の人をしっかりと見て離されないように走る姿が印象的でした。最後のスタートは、高学年でした。スタートでは思わずフライングをしたが、気合が充分入っていました。とても辛そうでしたが、ゴールまで走りきる姿は感動的でした。

とても感心したことは、応援の児童の態度でした。グラウンドに走る姿が見えなくても「がんばれ！がんばれ！」の声援がずっと聞こえていました。もう1つ感心したことは、脱いだ靴の整頓でした。全員の靴が青のビニルシートにきちんとそろって並んでいました。まるで靴屋さんの展示のようにきれいでした。「靴がそろとう気持ちもそろとう」という文言がありますが木谷っ子のよさを垣間見たようでうれしくなりました。

そのあとは、蛟龍の皆様の愛情たっぷりの豚汁をいただきました。今年はジャガイモに代わってほくほくの小芋を入れて作っていただきました。疲れ切った体のすみずみまで元気になるおいしさでした。本当においしかったです。わすれられないお味でした。朝早くから作ってくださりありがとうございました。

